

ツール特集

配布用

働き方改革を担う管理職読本

～プレ・マネ必見！ 役割を確認し行動を変えるヒント～

株式会社日本コンサルタントグループ 執行役員 コンサルティング部 部長
社会保険労務士（東京都社会保険労務士会会員）

塚越 茂

■ チーム効率を高め、成果を出し、自身の成長も

働き方改革のしわ寄せが管理職に集中し、管理職の活力が奪われている。経営陣からは「最低限の勤怠管理の仕組みと制度は整えた、あとは何とかするのが管理職の役目だ」との指示が飛ぶ。しかし、そうは言われても、何をするのか、どこから手をつけたらいいのか悩む管理職は多い。そもそも自分自身がアウトプットを求められている。さらにチーム業績、メンバー個々の成長も期待され、「働き方改革」では「残業するな」「しっかり休め」「早く帰れ」「働きやすさを実現しろ」との圧力が厳しい。

働き方改革の実現スピードが、職場のマネジメントの巧拙に大きく左右されることは間違いないが“働き方改革を成し遂げねば”と重い荷物を背負う義務感にかられて日々板挟みになるのは苦しいだけだ。悪戦苦闘するのではなく、ここは管理職の役割を果たす（＝自身の成長を実現する）うえでの絶好のチャンスと捉えたい。管理職とは、何を、どこまで、どうすべき人なのか。基本的な「管理職の役割」と効率化を支援する方法論、シートツールを紹介しながら、「働き方改革を成功させる」必須項目を整理した。

(著者)

CONTENTS

序章 1 働き方改革が進展しない構造理解

序章 2 働き方改革の副作用

What to do No.1 目的共有
課題の「共通理解」を図るWhat to do No.2 方向づけ
ワークスタイルの将来像を描くWhat to do No.3 課題認識
優先課題は何かを見極めるWhat to do No.4 業務効率①
メンバーの効率向上を支援するWhat to do No.5 業務効率②
チームの効率化を推進するWhat to do No.6 職務割当
メンバーに新たな仕事を割り振るWhat to do No.7 能力開発
多能化を推進し成長を後押しするWhat to do No.8 法令遵守
労働関連法規の知識を蓄える

終章 意識改革で終わらせない

本シートのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方はeditors@busi-pub.comまで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込みください(TEL・FAXは不可)。2018年11月30日まで。

■ 塚越 茂 (つかごし しげる) :

大手都市銀行にて、法人の融資審査業務に従事(改善活動など頭取表彰を2回受賞)。銀行退職後、ビジネススクールでの講師経験、同スクールで教務部統括マネジャーとして40数名の部下の人事労務管理を担当する。その後、日本コンサルタントグループに入社。経営改善コンサルタント、マネジメント研修講師として、20年近くの経験を有する。延べ30,000人以上の管理職教育に関わり、理論を空論にしない自らの体験に基づく実践手法の提供と受講生への動機づけには定評がある。【専門テーマ】[経営改善領域] 人事管理(人材育成と人材活用の理念に基づく人事システム構築)、労務管理(労務コンプライアンス診断と働きやすい職場づくり) / [教育研修領域] リーダーシップ(ビジョンづくり、現状変革、行動環境整備、モチベーション)、OJT、人事考課、MBO、階層別マネジメント教育



■ 株式会社 日本コンサルタントグループ

●住所：東京都新宿区下落合三丁目22-15 ニッコンビル ●電話：03-5996-7541 ●URL：https://www.niccon.co.jp/